

ロシアによるウクライナへの侵略を強く非難する決議

去る2月24日、ロシアが本格的なウクライナへの侵略を開始した。

ロシアによる侵略は、ウクライナの主権及び領土の一体性を著しく侵害し、武力の行使を禁ずる国際法の深刻な違反であり、国連憲章の重大な違反である。

いかなる国であろうとも、力による一方的な現状変更は断じて認められない。ロシアの行動は、欧州だけでなく、アジアを含む国際社会の秩序の根幹を揺るがす極めて深刻な事態であり、我が国の安全保障の観点からも決して看過できず、大阪府議会は最も強い言葉で、これを非難する。ロシアに対し、国際法を遵守し、即時に攻撃を停止し、軍をウクライナより撤収するよう強く求める。

以上、決議する。

令和4年3月1日

大阪府議会

(参考和訳)

2022年3月8日

サンクト・ペテルブルグ市知事
アレクサンドル・ベグロフ 様

大阪市民を代表し、緊急のお手紙を差し上げることにした。

大阪市とサンクト・ペテルブルグ市は、1979年の姉妹都市提携以来、40年以上にも及ぶ長きにわたって姉妹都市関係を発展させてきた長い歴史がある。姉妹都市提携40周年となる2019年9月には貴市を訪問し、ベグロフ知事と直接対話を行い、良好な信頼関係が構築できたと考えている。

今後も貴市とは引き続き良好で強固な姉妹都市関係を築きたいと願っているところであるが、今回のロシア連邦の軍事行動がこれまで積み上げてきた両市の交流に悪影響を及ぼすことを憂慮している。

今回のロシア連邦の武力による他国への侵略は、国際法に違反しており、国際社会として到底許されるものではない。一刻も早くロシア連邦はウクライナでの軍事行動を中止し、軍を撤退させ事態を終結させるべきである。

平和を願う気持ちは、サンクト・ペテルブルグ市民も我々も含め、人類共通と考えている。速やかにこの現在の状況が平和的な手法によって解決され、両市が未来志向で強固な関係を継続できることを強く期待している。

なお、この書簡については、サンクト・ペテルブルグ市民はもとより、大阪市民を含め広く知っていただきたいとの趣旨で、公開書簡とさせていただくのでご理解願いたい。

大阪市長
松井 一郎

ロシアに対しウクライナ侵略を直ちに中止し撤退を求める決議

2月24日、ロシアは一方的に「独立」承認した東部地域にロシア軍を侵入させるとともに、首都キエフをはじめ、ウクライナ各地を攻撃している。これは主権尊重・領土保全・武力行使の禁止をうたった国連憲章を踏みにじる侵略行為にほかならず、ウクライナ国民が有する戦争による恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する権利を侵害するものである。

プーチン大統領は、今回の軍事行動はウクライナ東部地域の「要請」を受けたもので、国連憲章第51条の集団的自衛だとしている。

しかし、自分たちが一方的に「独立」を認めたドネツク人民共和国及びルガンスク人民共和国との集団的自衛などそもそもありえず、ロシアの言い分は国際法上全く根拠のない暴論である。

また、プーチン大統領は、この間「（ロシアは）世界で最も有力な核保有国の一つだ」と核保有を誇示し、「外部からの邪魔を試みようとするものは歴史上で類を見ないほど大きな結果に直面するだろう」と核兵器の先制使用をも示唆し、世界を威嚇している。このロシアの態度は唯一の戦争被爆国日本の国民である私たちとしては到底認めることができない。

このような武力行使や威嚇を認めれば、世界の人々が長年にわたってつくり上げてきた平和の秩序は一瞬にして崩れ去り、世界は19世紀までの弱肉強食がまかり通る時代に逆戻りしてしまいかねない。

国連緊急会合はロシア非難決議案を圧倒的多数の賛成で決議し、ロシアを含めた世界各国で反戦デモが広がっている。ロシア政府はその声に耳を傾けるべきである。本市議会は改めてウクライナ及びウクライナ国民とともにあることを表明する。

よって、本市議会はロシアの暴挙に怒りをもって糾弾するとともに、直ちにウクライナから撤退するよう強く求める。

以上、決議する。

令和4年3月7日

池田市議会

ロシア連邦大統領

ウラジーミル・ウラジーミロヴィチ・プーチン閣下

抗議文

2月24日、貴国がウクライナに軍事侵攻したことは、ウクライナの主権及び領土の一体性を侵害し、武力の行使を禁ずる国際法の深刻な違反であり、国連憲章の重大な違反である。

また、女性や子どもを含む一般市民が銃火にさらされ多数の死傷者が発生していることや、核兵器の使用を示唆していることは、決して容認できない由々しき事態である。

池田市は、非核平和都市宣言都市として、今回の軍事侵攻に強く抗議するとともに、即時の攻撃停止と部隊の撤収、国際法を順守した誠意ある対応を強く求める。

2022年3月3日

日本国 大阪府 池田市長 瀧澤 智子

ロシア連邦のウクライナへの軍事侵略に抗議する決議

ロシア軍が2月24日、ウクライナへの軍事侵略を行ったことに抗議する。

この侵略は、ウクライナ国民だけでなく、国際社会の平和と秩序、安全を脅かし明らかに国連憲章に違反する行為であり、断じて容認することはできない。

今回の軍事行為は、市民の犠牲を生み、恒久平和を希求する世界の人々の気持ちを踏みにじるものであり、ましてや核兵器を絶対に使用することがあってはならない。

よって、能勢町は「恒久平和を希求し核兵器を廃絶する町」を宣言する理念に基づき、ロシア軍による攻撃やウクライナの主権侵害に抗議するとともに、直ちに攻撃停止とロシア軍を即時に撤退させ、人々の尊い命と平和な暮らしを理不尽に奪う侵略行為を中止し、平和的な解決への道を探ることを強く求める。

以上、決議する。

令和4年（2022年）3月8日

大阪府能勢町議会

ロシア連邦大統領

ウラジーミル・ウラジーミロヴィチ・プーチン 閣下

ウクライナ侵攻について（抗議）

貴国は、2月24日、国際社会の平和と秩序を脅かし、世界の恒久平和を希求する世界中の人々の願いを踏みにじり、ウクライナ国内では複数の都市で武力衝突が起こり、市民に犠牲が出ていると聞きます。

さらに、本軍事侵攻に際し、核兵器の使用を示唆する発言をしたとの報道にも、非核平和宣言都市である本町は、あらゆる国のあらゆる核兵器も拒否し全世界に核兵器の廃絶を強く訴えているところであり、このような行為には強く憤りを覚えます。

今ここに、河南町住民を代表して、即時の軍事攻撃の停止、部隊の撤収、国際法を遵守した対応を行うように貴国に対して強く要請します。

2022年3月3日

日本国 大阪府河南町長 森田昌吾

日本国 大阪府河南町議会議長 浅岡正広

議員提出議案第 3 号

ロシアによるウクライナへの侵攻に強く抗議する決議

去る 2 月 2 4 日、ロシアが本格的なウクライナへの侵攻を開始した。

また、ウクライナでは、子どもを含む民間人に多くの死傷者が発生しているとの報道がなされている。

これらの行為は、ウクライナの主権及び領土の一体性を著しく侵害し、武力の行使を禁ずる国際法への深刻な違反であり、重大な国連憲章違反である。

いかなる国であろうとも、力による一方的な現状変更は断じて認められない。ロシアの行動は、欧州だけでなく、アジアを含む国際社会の秩序の根幹を揺るがす極めて深刻な行為であり、我が国の安全保障の観点からも決して看過できず、強く非難するとともに、ロシアに対し、国際法を遵守し、即時攻撃を停止し、軍をウクライナより撤退させるよう強く求める。

以上、決議する。

令和 4 年 3 月 3 日

堺 市 議 会

ロシア連邦大統領

ウラジーミル・ウラジーミロヴィチ・プーチン 閣下

抗議文

貴国が、ウクライナへの軍事侵攻に際し、核兵器の使用を示唆した一連の行為について、高石市民を代表し、ここに嚴重に抗議する。

今回の軍事行動は、核兵器のない世界の実現に向け努力を続ける国際社会を大いに失望させる行為である。

世界の恒久平和を希求し、1984年に「非核平和都市宣言」を行った高石市としては、強い憤りを感じており、断じて容認できるものではない。

人々の尊い命と平和な暮らしを理不尽に奪う侵略行為を直ちに中止し、国際法を順守した誠意ある対応を強く求める。

2022年3月2日

日本国 大阪府 高石市長 阪口 伸六

日本国 大阪府 高石市議会議長 清水 明治

抗議文

ロシア連邦大統領

ウラジーミル・ウラジーミロヴィチ・プーチン 閣下

貴国がウクライナに対し軍事侵攻を行い、ウクライナ各地で多くの市民が犠牲となっていること、核兵器の使用を示唆するなどの一連の行為は、国際社会の平和と秩序、安全を脅かすもので、断じて容認することはできません。田尻町民を代表して、ここに嚴重に抗議します。

昭和 60(1985)年に「非核平和都市宣言」を行った田尻町では、世界の恒久平和の実現に向けて、人間尊重の精神の涵養、核兵器の廃絶を強く訴えてきております。

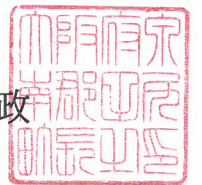
貴国の行為は、何よりも尊く、かけがえのない「命」を奪うばかりか、核兵器のない社会の実現に向け、たゆまぬ努力を重ねる国際社会の人々の願いを踏みにじるものです。本町として、貴国の行為に対し、強い憤りを感じています。

ここに、貴国に対し、人々の尊い命と平和な暮らしを奪う侵略行為を即刻中止し、平和的解決を図られるよう強く要請します。

2022 年3月8日

日本国 大阪府 田尻町長

栗山 美政



日本国 大阪府 田尻町議会議長

中川 達夫

